

一般質問



吉原 議員

質問

一、体験旅行は、本年には3万人を
超す勢いで、右肩上がりのこの事業
に大きな喜びを感じます。これも市
長を名誉会長とし、各体験協の担い
手を中心として行政が活動の後押し
をしており、官民協同で盛り上がっ
ていることが事業発展の大きな要因
と考えられる。

(1)市として今後とも、今までのよう
な官民協同の支援体制の継続をする
必要性を強く感じるが、市長の考え
を伺います。

(2)本年は3万人以上が見込まれ、そ
の経済効果は3億円を超えると聞く。
松浦への直接的な経済効果と経済波
及効果はどのくらいか。

(3)民間の担い手は高齢化し負担が大
きくなっている。市の職員の皆さん
に協力をお願いできないか。

(4)ボランティアガイドを設置する必
要性を感じるがどのような考えか。
二、福島支所は、築54年を経過し、
柱や壁等に大きなひび割れが生じて
おり、大変危険な状態にある。耐震
対策にどう取り組まれているのかお
尋ねする。

一、体験旅行を核とした交流人口の
更なる増大策について
二、福島支所の耐震対策について

答弁

一、(1)今後についても基本的に官民
協同で取り組みを継続していきたい
と思っています。交流公社の体制は
現在13名で、市からは正職員2名と
嘱託職員1名を派遣しております。
このことは、学校とか旅行会社に安
心感、信頼感を持って頂ける大きな
ポイントになろうと思います。

(2)数字的には全体の約6割を松浦市
で受け入れており、直接経済効果は
23年度で約3億2千万円ほどありま
す。波及効果に関しては今のところ
把握していませんが、今後、二次効
果、三次効果まで含めた試算をして
みたいと思っています。

(3)この事業は多くの市民の皆様の協
力があって成り立っています。職員
も事業の重要性や効果を認識してい
ると思いますので、市民の一人とし
て可能な方は協力をお願いしたいと
思っています。

(4)市の観光実施計画の中で、観光の
受け皿事業として計画しています。
二、福島支所庁舎の状況については、
十分把握しておりますので、総合的
に今後検討してまいります。

一般質問



武辺 議員

質問

一、(1)供用開始後の車の流れの変化
によるメリット、デメリットという
のをどのように捉えていますか。
(2)全線開通に絡めた今後のまちの在
り方についてはどう考えていますか。
(3)県のまちなか活性化推進事業の中
の「まちなかに準ずる区域」という
ものに御厨地域は該当しますが、県
への働きかけなどは考えていますか。

(4)西九州自動車道開通後といった長
期的取り組みとは別に、御厨星鹿地
区に対しては今すぐにも手立てが
ほしいと思っています。市長の御厨
星鹿地区に対する思いを聞かせてく
ださい。

二、(1)御厨地区については26年度を
目処に統廃合を行いたいと明言され
ましたが、福島地区の校舎の建て替
え場所や時期、青島中学校の通学手
段であるフェリーのダイヤの調整の
見通しはどうなっていますか。

(2)御厨地区のスクールバスではなく
乗り合いバスを利用した通学を推し
進める根拠は何ですか。
(3)統廃合に係る保護者の金銭的負担
はゼロ円であるべきだと思いますが、
考えをお聞かせください。

一、西九州自動車道松浦く佐々間の
環境影響評価及び都市計画手続き
着手を受けて
二、松浦市小・中学校適正配置基本
計画について

答弁

一、(1)福岡、佐世保までの時間が短
縮され、防災、医療、産業、物流な
どの効果が期待されます。反面、一
般国道の交通量が減少し、国道沿い
での購買が減少すると考えられます。
(2)福岡都市圏の活力をどう取り込む
かが重要な課題です。雇用の場を確
保するための企業誘致や豊かな海を
活用した水産拠点に取り組む必要が
あると考えます。(3)県との協議が必
要です。推進事業の活用について地
域の関係団体と協議を重ねます。

(4)均衡ある周辺地域発展の観点から、
御厨、星鹿の団体とも今後積極的に
話し合いながら、御厨湾の埋め立て
や農林水産業の振興など地域の皆様
方の期待に応えられる地域づくり
努力いたします。

二、(1)福島地区の校舎建設の場所は
未だ決まっていません。フェリーの
件については、鷹島汽船と協議中
ですが、国の補助航路でもあり現状
では未確定です。(2)金額面の比較とバ
スの存続、地域活性化の面から乗り
合いバスの利用を考えております。

(3)準備委員会が負担の軽減等を検討
してまいります。